

韓日夫婦の呼称の対照調査

2004年4月～2005年3月受入交換留学生
韓国カトリック大学言語文化学部 2年
許庭銀¹ (ホ・ジョンウン)

1. 調査目的

どのような国と比較してみても韓国と日本のように似ている国はない。だが、文化、思考方法、性格等の違いが作り出す言語的、文化的な差は、日常生活でも容易に発見できる。家族の基本単位である夫婦の呼称もその一つである。各国の夫婦の呼称は、文化、思考方法、性格等の影響を受けて異なると思われる。そこで本レポートでは、異なる夫婦呼称の社会的な背景は何かを言語学的、文化学的観点から調査、分析し、日本語教育に応用することを目的とする。具体的な調査内容は、夫婦相互間で直接呼ぶ呼称についてである。

2. 調査概要

調査は2005年1月12日から1月13日まで韓日両国で同時に行った。対象者は既婚者95名(韓国48名、日本47名)である。男女比率は、韓国が48名中男性25名・女性23名、日本は47名中男性23名・女性24名で、ほぼ同等の比率の分布である。〈表1〉のアンケート対象者属性表を見ると、平均年齢は韓国が42.25歳、日本が48.78歳で日本のほうが約6.5歳ほど高く、平均結婚年数も日本のほうが約6年ほど長いということが分かる。なお、本レポートの調査はアンケートによって行った。

¹ e-mail:hara0520847@daum.net

<表1、アンケート対象者属性表>

	韓国人		日本人	
人数	48名	男性：25名	47名	男性：23名
		女性：23名		女性：24名
平均年齢	42.25歳		48.78歳	
年齢分布	27歳～56歳		30歳～60歳	
平均結婚年数	15.21年		21年	
職業	公務員	6名	公務員	8名
	会社員	24名	会社員	12名
	自営業	5名	自営業	3名
	教師	3名	教師	5名
	主婦	10名	主婦	6名
	その他	0名	その他	13名 (団体職員)

3. 調査結果と分析

呼称は状況、子供の有無によって大きな変化があると思われるが、今回の調査は時間や文書の量が限られているため、夫婦相互間で呼び合う呼称だけに限定して調査を行った。<表2>は、両国の夫婦相互間で呼び合う呼称について調査した結果である。分析のため、韓日夫婦間の呼称についてホン・ミンピョ(1999)を参考に分類項目をたて、夫の呼称、妻の呼称を分類した。以下<表2>と図1、図2に基づいて分析していくことにする。

3. 1 人称代名詞

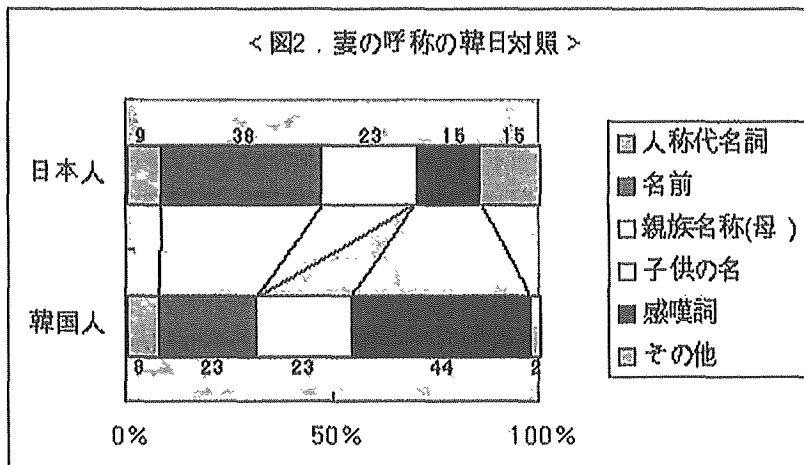
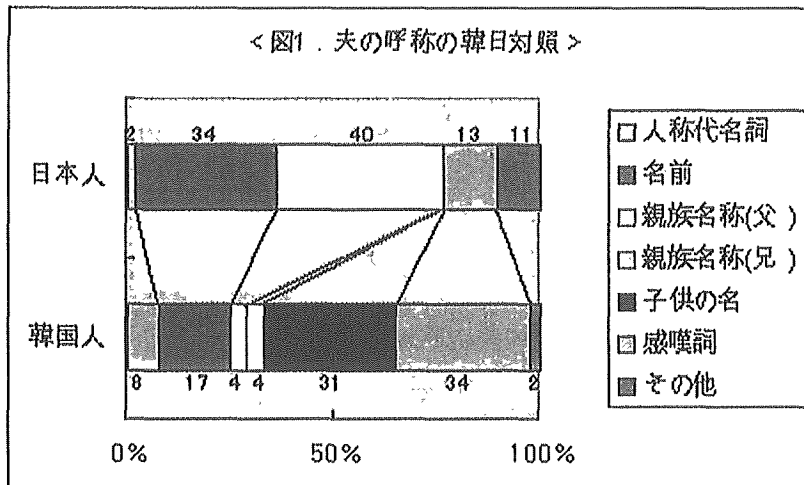
<表2>と図1、図2のデータによると、人称代名詞の言葉の数は日本のほうが多いが、実際に呼んでいるケース数は男女合わせて韓国のほうが多い。韓国語の당신(タンシン)、자기(チャギ)は夫婦間の愛情が表されている言葉である。特に、자기(チャギ)という言葉は、韓国の夫(4%)より妻(17%)が4倍以上多く使っている。これは男性より愛情表現を積極的に行う女性特有な使い方だと考える。

一方、당신(タンシン)は日本語でよく翻訳される「あなた」という言葉であるが、「日本では妻が夫を呼ぶ語」と『広辞苑』に明記されている。だが、韓国語의당신(タンシン)は「夫婦間で相互に相手に呼びかける言葉」と書かれており、国立国語研究院(1992)の『標準話法解説』にも、「呼称語ではなく相手を指して称する語」

と書かれているため、呼称とは異なる。これらをまとめると、韓国語の당신(タンシン)には呼称語としての使われ方は本来なく、指称として使われていることを示している。このことは、同じ意味だとされて使用されている言葉「あなた/당신(タンシン)」がもともとは異なる使い方を有していることを表している。

3. 2 名前

下図のデータにより、韓国の場合、妻(35%)より夫(44%)のほうが名前を使用して呼称としていることが分かる。これは、夫の名前をむやみに呼んではいけないという、韓国の男尊女卑思想と家父長的思考方式が原因ではないかと思われる。韓国(約40%)では日本(51%)よりも名前で呼ぶ場合が少ないことも、そのことが原因だと思われる。しかし、現在は夫婦同等意識が広まってきているため、次第に名前を呼ぶ人が増えると予想できる。



<表 2. 両国の夫婦相互間での呼称>

	韓国人			日本人	
	夫→妻	妻→夫		夫→妻	妻→夫
人称代名詞	4	4	人称代名詞	4	1
당신	3	-	あなた	2	1
자기	1	4	おまえ	1	-
			きみ	1	-
名前	11	8	名前	8	16
이름+아(야)	4	1	名前のみ	11	2
이름+씨	-	1	名前+さん		5
성명	1	-	名前+ちゃん	1	2
애칭	6	6	名前+くん	-	2
			愛称	6	5
親族名称	-	4	親族名称	11	19
아빠	-	2	おとうさん	-	17
			おとうちゃん	-	-
			パパ	-	2
			おかあさん	10	-
			おかあちゃん	-	-
			かあちゃん	-	-
			ママ	1	-
오빠(兄さん)	-	2			
子供の名+親族名称	11	15			
철수아빠(太郎の父さん)	-	15			
철수엄마(太郎の母さん)	8	-			
철수+아(太郎)	3	-			
感嘆詞	21	16	感嘆詞	7	6
여보	20	15	おい等	6	-
어이	1	1	ねえ等	1	6
その他	1	1	その他	7	5
省略	-	-	省略	-	-
ニックネーム	-	-	ニックネーム	3	3
その他	1	1	その他	4	2

3. 3 親族呼称

韓国では自分の配偶者を親族呼称だけで呼ぶ場合が非常に珍しく、夫の呼称では日本の2割しか使用されていないし、妻の呼称では全く使用されていないことが分かる。〈表 2〉では両国の呼称を対照し、同じ種類の呼称だと考えられる呼称が現われない場合、斜線を引いて表示した。

3. 4 子供の名+親族呼称

〈表 2〉からみると韓国語では「太郎のお母さん」のような「子供の名前を使用する呼び方」が54%を占めるが、日本語では全く使用していないことが分かる。このように韓国で「子供の名前を使用する呼び方」が発達した理由は家族制度と深い関連があると考えられる。すなわち、3世代が一緒に住んでいた時代は、舅姑の前で愛情を表す言葉を使用したり、相手を直接呼ぶのがよくないこととされ、非常に困難であったため、子供に頼って間接的に呼ぶのではないかと思われる。日本では韓国のような呼び方はないが、子供の名前は省略し、父称と母称だけで呼ぶ呼び方がある。この呼び方は全体の64%という非常に高いパーセントを占めている。このような呼称も、韓国の「子供の名前を使用する呼び方」と同じような現象だと考える。

3. 5 感嘆詞

韓国語には여보(ヨボ)という言葉があるので、感嘆詞で呼ぶパーセントが高いが、여보(ヨボ)を除いた場合、韓国語(4%)より日本語(28%)のほうが多く感嘆詞を使用している。

韓国語の여보(ヨボ)は、年齢、性別問わず使える呼称で、여기 봐(ここ見てよ)の略語である。男女を同等に呼べる言葉で、一番正しい夫婦の呼び合い方として知られている言葉でもある。したがって、男女平等時代に合わせて、여보(ヨボ)という言葉が夫婦間の呼称でより使われていくと予想できる。

4. 終わりに

これまでアンケート結果に基づいて、韓国人と日本人の夫婦の呼称について言語学的、文化学的観点から考察してきたが、韓日両国の夫婦の呼称が大きく異なることが確認できた。これは円滑な家族生活と両国の家族を理解する資料、そしてこれからの両国の夫婦の呼称の変化を予想する資料になると考える。

【参考文献】

- ホン・ミンピョ (1999) 『韓日夫婦呼称の対照言語的研究』 韓国日本学会
国立国語研究院 (1992) 『標準話法解説』 国立国語研究院